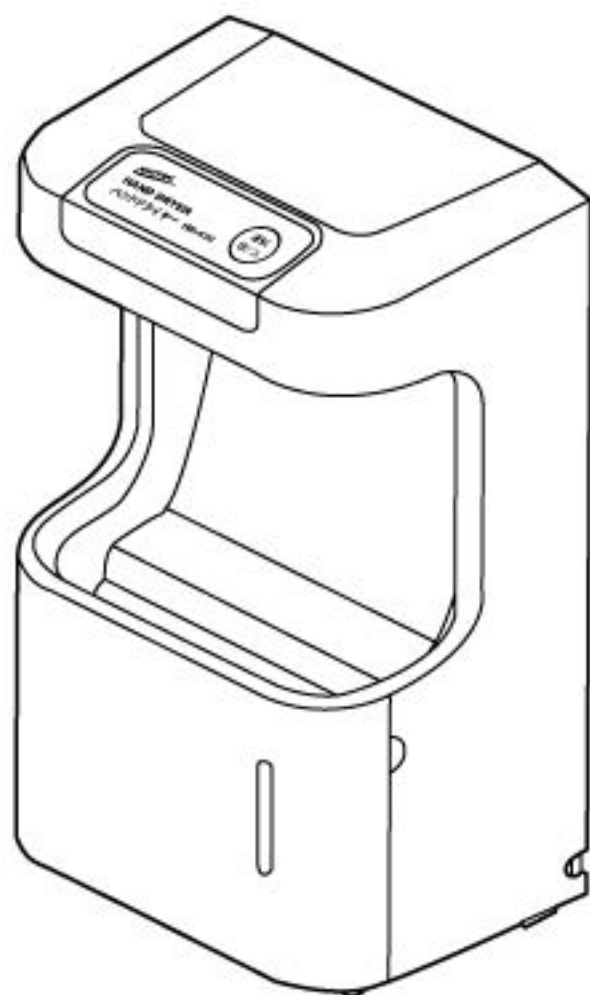


取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
お使いになるまえに	4~5
操作方法と使いかた	5
お手入れのしかた	6~7
故障かな?	8
仕様	8
保証書	巻末

- このたびはハンドドライヤーをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書には保証書が記載されていますので、大切に保管しておいてください。

この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は商品の保証をお受け出来ない場合がありますので、ご注意ください。

安全に使用するために

ご使用前に、この「安全上のご注意」をお読みください。



この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りいただくことを ▲ 警告、▲ 注意 の表示によってお知らせしています。

▲ 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容”を示します。
▲ 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容”を示します。



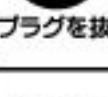

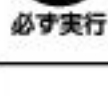

図記号の説明

⊘ 禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くの絵や文章で指示します。
❶ 指示	❶は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くの絵や文章で指示します。
▲ 注意	▲は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くの絵や文章で指示します。




▲ 警告

可燃性ガスが漏れるような場所を設置場所を選ばない 万一、ガスが漏れて製品の周囲にたまると火災の原因になります。	 禁止
風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所を据付場所を選ばない 絶縁劣化により感電、火災の原因になります。	
使用中・使用直後は持ち運ばない、お手入れしない 水受けタンク内の水がこぼれ火災、感電、やけどの恐れがあります。	
水受けタンクを外したまま使わない 水が漏れ、火災、感電の原因になります。	
お手入れのときや使用時に水につけたり、水をかけたりしない 感電、火災の恐れがあります。	
指定する電源以外で使用しない 火災の原因になります。	
引火性のあるものを近づけて使用しない(灯油・ガソリン・シンナーなど) 爆発や火災の原因になります。	
電源コードは重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない 感電や火災の原因になります。	
電源コードは、破損させたり、加工や途中での接続、他の電気器具とタコ足配線などしない 火災の原因になります。	
電源プラグを抜いて運転停止しない 感電や火災の原因になります。	
吹出口や吸込口を手で塞いだり、物(金属、紙、水、棒など)を差込んだり、中に入れない ヤケドや感電、故障の原因になります。	 分解禁止
自分で分解、改造、修理をしない 火災、感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。	

▲ 警告

<p>濡れた手で電源プラグの抜き差しやボタンの操作をしない 感電の原因になります。</p>	 ぬれ手禁止
<p>お手入れの際は、必ず電源プラグを抜き、水受けタンクの水を排水する 不意に作動してケガをしたり、感電の原因になります。</p>	 プラグを抜く
<p>内部に水や異物が入った場合は、すぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使うと、火災、感電の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>	 プラグを抜く
<p>電源プラグの抜き差しはプラグを持って行う 電源コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、火災の原因になることがあります。</p>	 必ず実行
<p>電源プラグの刃などについてホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>	 必ず実行
<p>故障・異常時には、直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても運転しないときがある。 ●水漏れする。 ●本体・電源コード・電源プラグが異常に熱い。 ●運転中、異常な音や振動がする。 ●コゲ臭い。 <p style="font-size: 2em; margin-left: 20px;">}</p> <p>火災・感電・ケガの原因になります。 すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡する。</p>	 使用を中止する

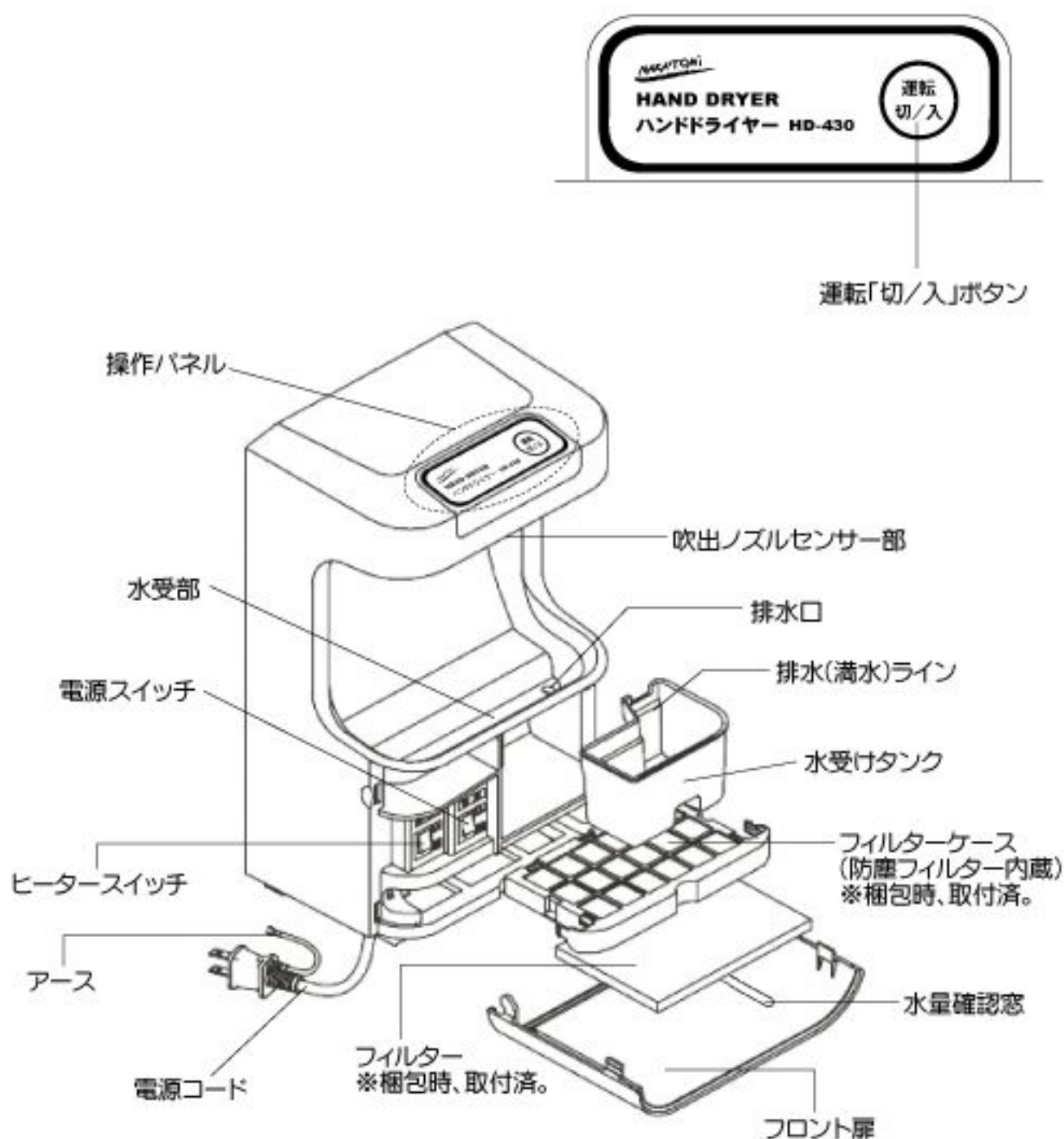
▲ 注意

<p>製品本体は十分強度のある平らな平面または垂直な壁面に確実に取り付ける 落下してケガをしたり、破損する恐れがあります。</p>	 必ず実行
<p>製品の上に花瓶などの液体が入った容器を置かない 製品内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や火災の原因になることがあります。</p>	
<p>本体にぶら下がらない 落下してケガをする恐れがあります。</p>	
<p>製品本体を水洗いしない 感電の原因になることがあります。</p>	 禁止
<p>製品本体を倒さない、横にしない 感電の原因になることがあります。</p>	
<p>食品・動植物・精密機器・美術品などの用途に使用しない 製品の故障の原因になることがあります。また、これらのものに損害を与えることがあります。</p>	
<p>お手入れや掃除をするときは、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く 内部でファンが高速運転し、ヒーターが過熱していますのでケガやヤケドの原因になることがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く ほこりがたまって火災の原因になることがあります。</p>	

お願い

- 手に薬品などが付いたまま使わないでください。(薬品が本体に付着して故障、変色の原因になります。)
- 水受けタンクの水は、排水ラインを超える前に捨ててください。
- 使用時に吹き飛んだ水滴が壁面や床面に付着しますので、こまめに拭き取ってください。
- 使用を終了した製品は、万一の落下防止のために放置せず撤去してください。

各部のなまえ



付属品

スイッチカバー	壁面据付金具	取付ネジ(7本) ※予備2本含む。
		

お使いになるまえに

※製品本体のフロント扉を取り外してください。

1

十分強度のある平らで、垂直な場所を選んでください。

平面据付 と 壁面据付 のいずれかを選びます。

平面据付

本体は十分強度がある平らな面にガタツキなく固定する。

落下してケガをしたり、破損する恐れがあります。

壁面据付

本体は十分強度がある平らで垂直な壁に確実に取り付け。

落下してケガをしたり、破損する恐れがあります。

1) 壁面据付金具を取り付けます。

- 取付ネジ4本で確実に壁面に固定します。
- タイルやコンクリートの壁面に取り付けるときには、樹脂プラグ(市販品)などを利用して固定してください。
- 取付ネジの引抜き強度1000N以上(100Kgf以上)を確保してください。

2) 本体底面にスイッチカバーを取り付けます。

- 本体底面の転倒停止スイッチへかぶせながら「カチッ」と音がするまで押し込み、固定します。
- ※スイッチカバーは、壁面据付時のみ使用します。

3) 製品本体を壁面据付金具に引っ掛けます。

- 落下しないか下側へ力を加えて確認します。

4) 本体下側の固定部に取付ネジ(1本)で固定します。

- フロント扉を開け、フィルター挿入部奥のネジ固定部に取付ネジを確実に固定します。本体のガタツキがないか確認します。

2

電源コード(プラグ)の差込み距離(1.5m以内)を確認してください。

3

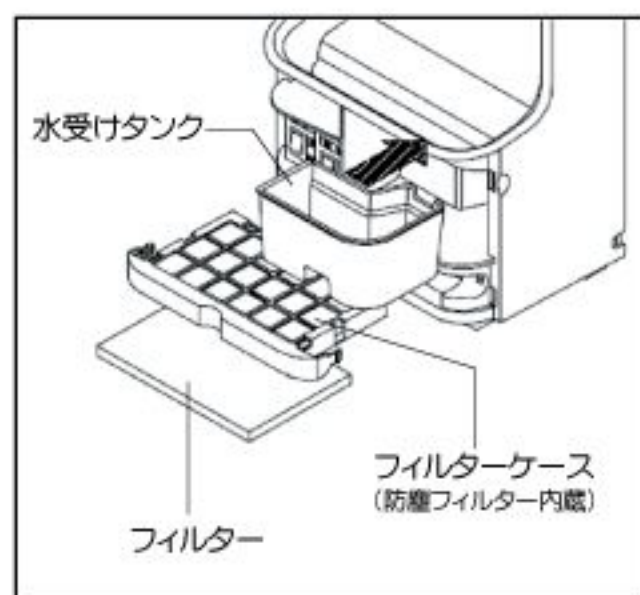
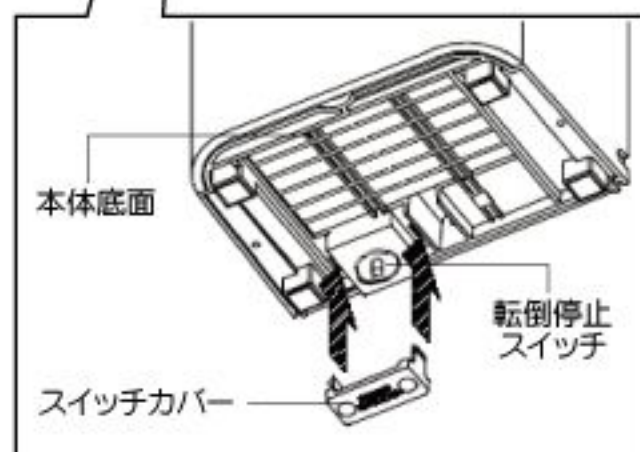
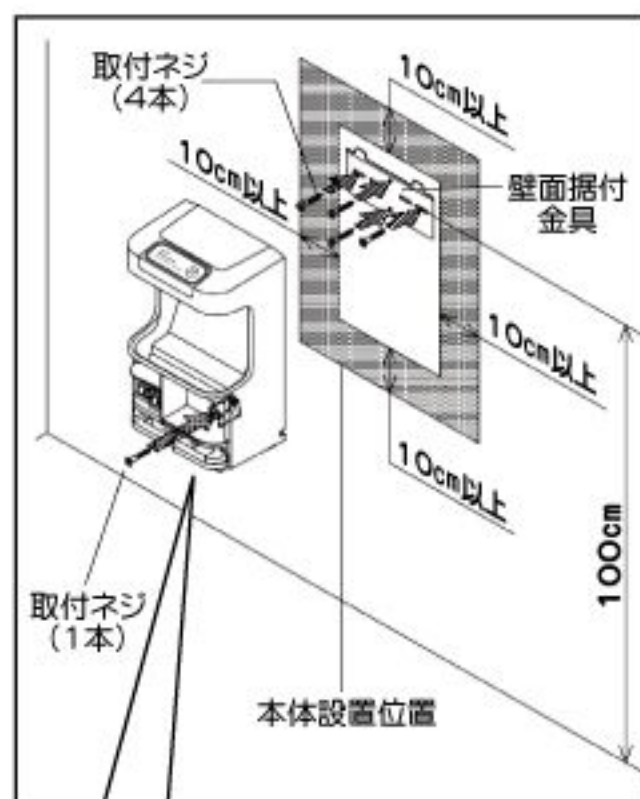
フィルターケース(防塵フィルター内蔵)が確実に取り付けられているか確認します。
「カチッ」と音がするまで挿入してください。

4

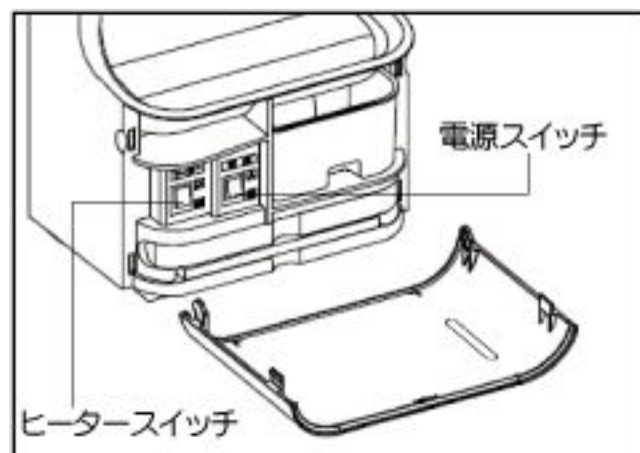
フィルターがフィルターケース(防塵フィルター内蔵)の下に確実に取り付けられているか確認します。
本体奥まで挿入してください。

5

水受けタンクが確実に取り付けられているか確認します。
本体奥まで挿入してください。



- 6 電源プラグをコンセントに差し込みます。
必ずアース線を接続してください。
- 7 電源スイッチ・ヒータースイッチを「入」にします。
- 8 フロント扉を取り付けます。
下側のツメ部を本体下側の穴に挿入し、上側を押してください。



操作方法と使いかた

手の乾燥運転

通常は「運転(切/入)」ボタンを「入」にしておきます。
手が挿入されていない場合は運転待機状態となります。

- 1 「運転(切/入)」ボタンを押します。
※吹出しノズル部に手を入れた状態で運転ボタンを「入」にしても作動しません。運転ボタンを「入」にしてから手を入れてください。
運転ランプ(赤色)が点灯します。
もう一度押すとランプが消え、運転を停止します。

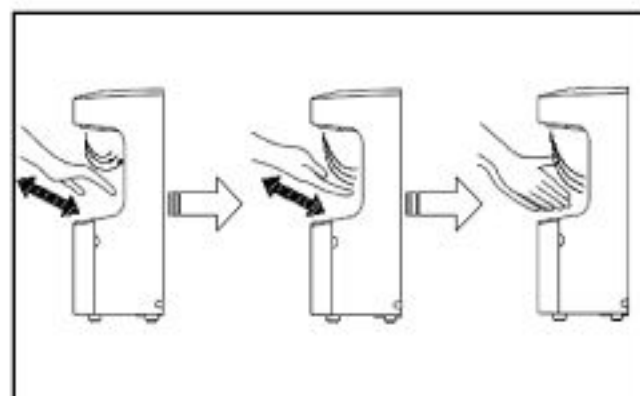
吹出しノズル部に手を入れると自動的に風が出ます。手を引くと停止します。

- 2 両手の甲を吹出しノズルの下へ入れます。
手の水滴を落とします。
指先を下に向け、ゆっくりと抜き差しします。

- 3 両手のひらを吹出しノズルの下へ入れます。
手の水滴を落とします。
指先を下に向け、ゆっくりと抜き差しします。

- 4 仕上げに手もみをして乾かします。
指先のすき間に残った水気を乾かしてください。

吹出しノズルの下に手を入れて自動的に風が吹出さない場合は、手を吹出しノズル(センサー部)中央部に近づけてください。






お知らせ

- 手の乾き具合は、室温や湿度、手の濡れ具合によって変化します。
- 勢いの強い温風が出るため、指先を上に向けると水がはねる場合があります。
- 水受け部に残った水が跳びはねる場合があります。
- いたずら防止機能について

約60秒間連続して使用すると「いたずら防止機能」が働き、自動的に運転を停止します。
連続してご使用になるときは、一度手を引き離してから再度手を入れてください。

お手入れのしかた

▲ 警告	●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 不意に作動してケガをしたり、感電の原因になります。	 プラグを抜く
	●お手入れの際に水をかけたり、洗ったりしない ショートして火災、感電の原因になります。	 禁止
	●お手入れの際は、必ず水受けタンク内の水を捨てる 内部に水がこぼれ、火災、感電の原因になります。	 必ず実行

本体のお手入れ(1ヶ月に1~2回目安)

- ぬるま湯か、台所用洗剤(中性)を薄めて布に浸し、よく絞って汚れを拭き取り、乾拭きをする。
- センサー部、水受部、排水口部はこまめにお手入れをしてください。
(センサー部が汚れていると風が出ないことがあり、排水口の汚れは目詰まりの原因となります。)
- ※変質・変色防止のために、トイレ用洗剤(酸性・アルカリ性の洗剤)、ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロンたわしなどは使用しないでください。
- ※科学ぞうきんを使うときはその注意書きに従ってください。

防塵フィルター・フィルターのお手入れ (1ヶ月に1~2回目安)

- 防塵フィルターやフィルターが目詰まりすると風量が低下し、乾きにくくなります。

- 1 フロント扉を取り外し、フィルターケース(防塵フィルター内蔵)、フィルターを本体より外します。
防塵フィルターは、フィルターケースより外してお手入れをしてください。
- 2 掃除機でほこりを吸い取ります。
汚れが気になる場合は、水洗いをし、直射日光を避け、しっかり乾燥させてください。
※フィルターは、火やドライヤーなど熱のあるもので乾かすことは絶対に行わないでください。
- 3 フィルターケースに防塵フィルターを取り付けます。
- 4 フィルターケース(防塵フィルター内蔵)、フィルターを本体に取り付けます。
本体に確実に挿入し、フロント扉を取り付けてください。
※フロント扉が確実に取り付けられていないと内部に水が入り、漏電・感電・故障の恐れがあります。



水受けタンクのお手入れ(毎日お手入れ)

※水受けタンクに水をためたままにしておくと、臭いの原因になる恐れがあります。

1

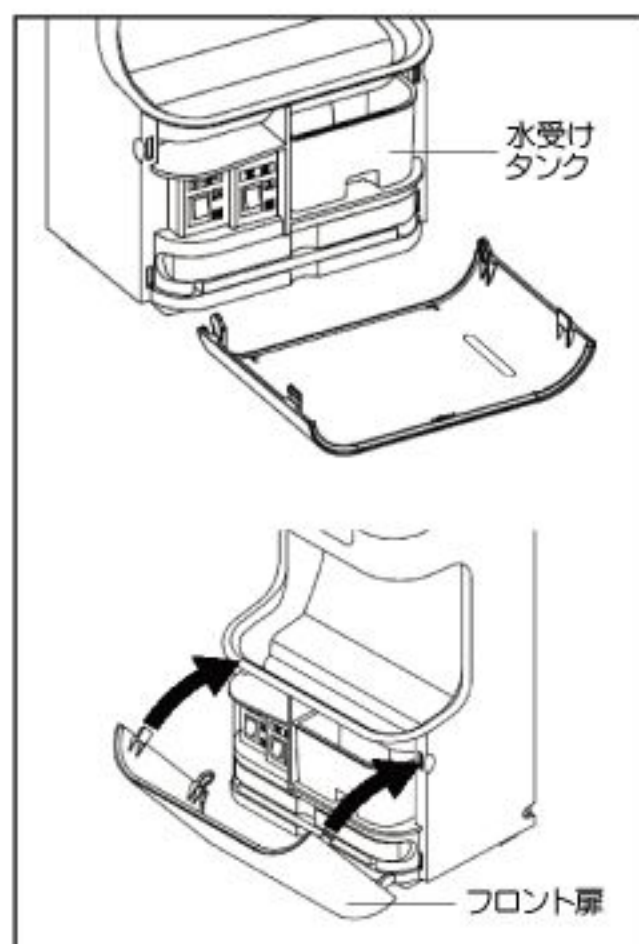
水受けタンクの水を捨てます。

フロント扉を開けて本体に取り付けられている水受けタンクを静かに手前に引き出し、水受けタンク内の水を捨てます。水受けタンク内はきれいな水ですすいで、よく拭き取ってください。

2

フロント扉を取り付けます。

フィルターや水受けタンクが確実に取り付けられているか確認し、フロント扉を取り付けます。
※フロント扉が確実に取り付けられていないと内部に水が入り、漏電・感電・故障の恐れがあります。



故障かな？

異常を感じたときは、次の表をお確かめになってお買い上げの販売店にご相談ください。

現象	点検及び処置内容	ページ
手を入れても風が出ない	●運転(切/入)ボタンが「ON」になっていますか？ →「OFF」になっている場合は、「ON」にしてください。	5
	●電源スイッチが「入」になっていますか？ →「切」になっている場合は、「入」にしてください。	5
	●水受部に異物を置いていませんか？ →異物がある場合は、取り除いてください。	6
	●センサー部が汚れていませんか？ →汚れがある場合は、柔らかい布などで拭き取ってください。	6
	●センサーから手が離れていませんか？ →センサー部に手を近づけてご使用ください。	5
手を引いても温風が止まらない	●水受部に異物を置いていませんか？ →異物がある場合は、取り除いてください。	6
	●センサー部が汚れていませんか？ →汚れがある場合は、柔らかい布などで拭き取ってください。	6
温風が出ない	●ヒータースイッチが「入」になっていますか？ →「切」になっている場合は、「入」にしてください。	5
風量が少ない	●フィルターにほこりやゴミがたまっていますか？ →たまっている場合は、掃除をしてください。	6

上記を確認しても変わらない場合は、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。
お客様ご自身での修理は、危険を伴いますので絶対にしないでください。

仕様

電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	温風「入」時：430W 温風「切」時：60W
電流	温風「入」時：4.3A 温風「切」時：1.0A
安全装置	温度ヒューズ、過電流ヒューズ、 自動復帰式/バイメタルサーモ、転倒安全スイッチ
使用周囲温度	0~40℃
水受けタンク容量	250ml
電源コード長さ	約2.0m
本体寸法	(W)220×(D)150×(H)360mm
質量	約2.8Kg

- 消費電力・電流は室温30℃のときの値です。
- お使いにならないときでも電源スイッチが「入」のときは約3W電力を消費します。
- 改良等のため、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2013.01